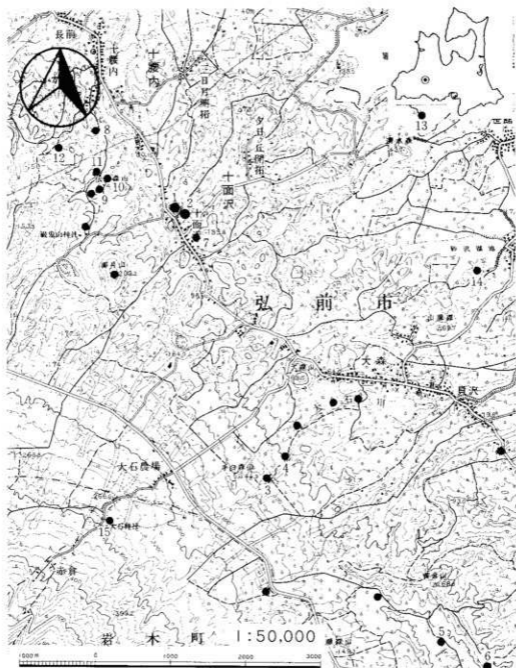


青森県埋蔵文化財調査報告書 第176集

森田(4)・(5)遺跡

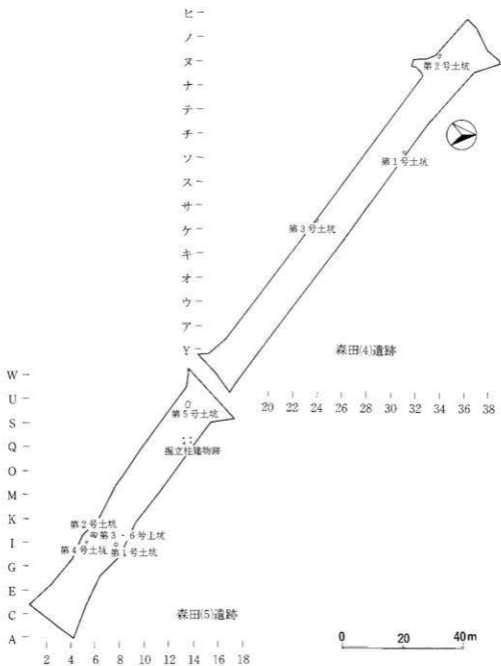
平成6年度

青森県教育委員会

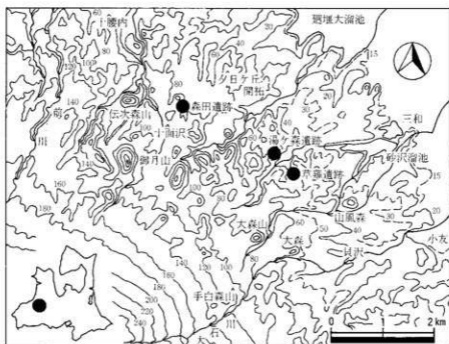


番号	遺跡名	時代	番号	遺跡名	時代	番号	遺跡名	時代
1	森田1号遺跡	縄文	6	鬼沢池原遺跡	縄文(後・晩)	11	十勝内遺跡	縄文(後・晩)
2	森田5号遺跡	縄文	7	常夜森遺跡	縄文	12	栗子山遺跡	縄文
3	大森野山遺跡	縄文(前・後・晩)	8	鍋沢1号遺跡	縄文	13	清水森遺跡	縄文(中・後・晩)
4	千白森遺跡	縄文	9	鍋沢2号遺跡	縄文(後・晩)	14	砂沢遺跡	縄文(後・晩), 弥生
5	尾上山遺跡	縄文	10	伝次森山遺跡	縄文	15	大石神社遺跡	縄文

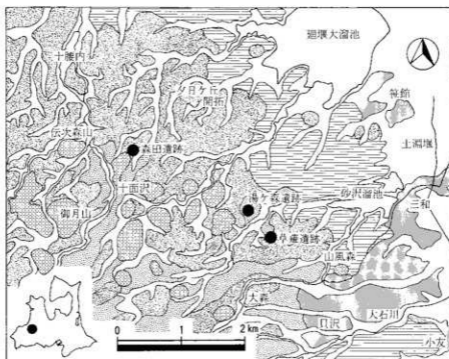
第1図 遺跡の位置と周辺の遺跡



第2図 森田(4)・(5)遺跡遺構配置図



第3図 遺跡周辺の等高線図



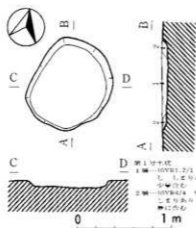
凡例 小丘群 古期山麓扇状地 中位段丘 新期山麓扇状地 火砕流台地 沖積地

第4図 遺跡周辺の地形分類図

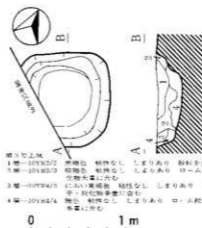
なロームである。本遺跡東方の小丘地ではⅤ層下位に亜角礫～亜円礫の安山岩礫を有する粘土質なローム層が堆積し、古期山麓扇状地を構成する堆積物の一部と思われる。

参考・引用文献

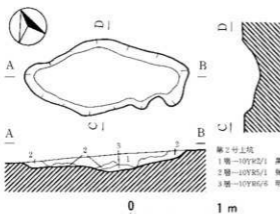
- | | | | |
|------------|------|----------------------------|--------------------|
| 大 沢 穣 | 1961 | 5万分の1地質図幅「弘前」(青森一第28号)同説明書 | 地質調査所 |
| 一色直記・大沢 穣 | 1967 | 岩木火山北東麓の泥流丘群 | 火山, Vol. 2, No12-3 |
| 中 川 久 夫 | 1972 | 青森県の第四系 | 青森県の地質 青森県 |
| 鈴 木 隆 介 | 1972 | 岩木山の変位 | 地理学評論45号 |
| 青森県教育委員会 | 1989 | 杣沢遺跡 | 県埋文報第130号 |
| 弘前市教育委員会 | 1991 | 砂沢遺跡発掘調査報告書—本文編— | |
| 青森県教育委員会 | 1992 | 鳴沢遺跡・鶴喰(9)遺跡 | 県埋文報第142号 |
| 山 口 義 伸 | 1993 | 平川流域での十和田火山起源の浮石流凝灰岩について | 年報 市史ひろさき2 |



第1号土坑
1層→10YR3/2/1 黒色 粘性なし
2層→10YR4/4 暗色 粘性なし
ローム粒子多量に含む



第2号土坑
1層→10YR2/2 黒褐色 粘性なし
2層→10YR3/3 暗褐色 粘性なし
3層→10YR4/3 におい黄褐色 粘性なし
4層→10YR6/4 暗色 粘性なし
ローム粒子多量に含む



第3号土坑
1層→10YR2/1 黒色 粘性ややあり
2層→10YR5/1 暗灰色 粘性あり
3層→10YR6/6 明黄褐色 粘性なし
ローム粒子少量含む

第6図 第1・2・3号土坑

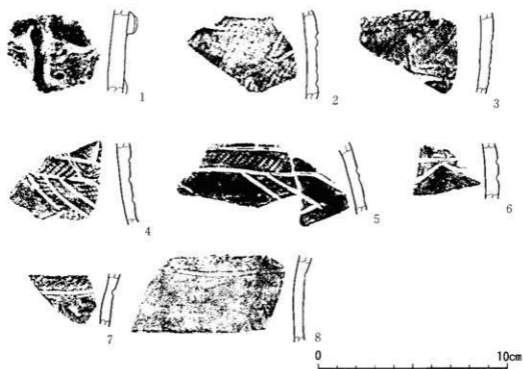
第2節 遺構外出土遺物

遺構外からの遺物の出土は、段ボール箱にして1箱にすぎなかった。調査区北側の包含層中からの出土がほとんどで、縄文時代中・後期の土器片、石器が出土している。

1 土器(第7図・図版2)

1は胴部片。粘度紐の貼付けによる隆起線文が施文される。2～7は同一個体で全て胴部片。沈線区画による磨消縄文帯を形成する。8も胴部片。地文無文に横位の沈線を施文する。

(笹森 一朗)

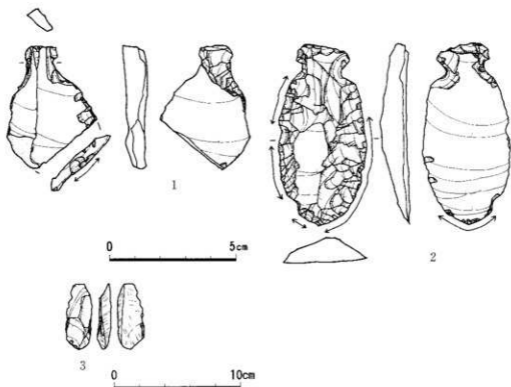


第7圖 遺構外出土遺物土器

2 石器 (第8図・図版4)

石器はすべて遺構外からの出土であり、石匙2点、磨製石斧の破片が1点の計3点である。剥片等他の石器は全く出土していない。

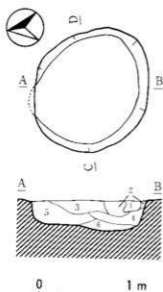
(斎藤 岳)



第8図 遺構外出土石器

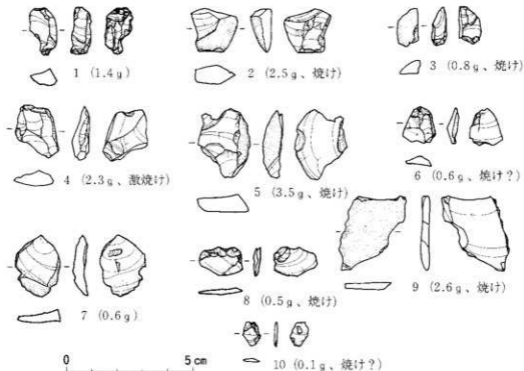
番号	分類	出土地点	層位	大きさ	重量(g)	石質	備考
1	石匙	シー26	I・II	(4.8)×(3.6)×1.0	(10.5)	珪質頁岩	
2	+	ノー36	II	7.2×3.5×1.2	24.8	*	
3	磨製石斧	ツー30		(5.2)×(2.1)×(1.1)	(13.5)	緑色細粒凝灰岩	

第1表 石器観察表

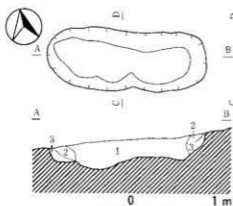


- 第1号土坑
- 1層→10YR2/2 黒褐色土 粘性なし しまりあり 炭化物微量混入
 - 2層→10YR3/3 黒褐色土 粘性なし しまりあり ローム砂・炭化物微量混入
 - 3層→10YR3/3 暗褐色土 粘性なし しまりあり ローム砂・炭化物・微土粒微量混入
 - 4層→10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり しまりあり ローム粒まだらに混入
 - 5層→10YR4/4 褐色土 粘性ややあり しまりあり 炭化物、微土粒微量混入 ロームブロックまだらに混入
 - 6層→10YR4/4 褐色土 粘性ややあり しまりあり 炭化物少量混入 ロームブロック多量に混入

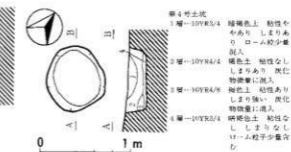
第9図 第1号土坑



第10図 第1号土坑出土遺物

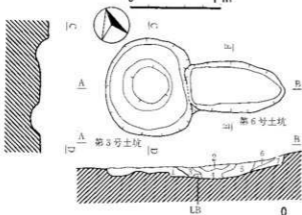


第1号土坑



第4号土坑

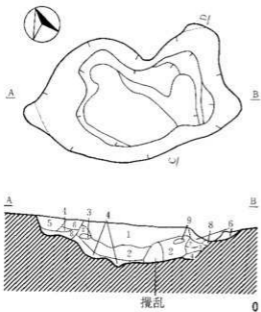
1層→10YR2/2 灰褐色土 粘付なし。しまりあり。炭化物層面に含む。
 2層→10YR2/3 黒褐色土 粘付なし。しまりあり。ローム粒・炭化物層面に混入。
 3層→10YR3/3 暗褐色土 粘付なし。しまりあり。ローム粒・炭化物・焼土粒層面に混入。



第3号・6号土坑

第2号・6号土坑

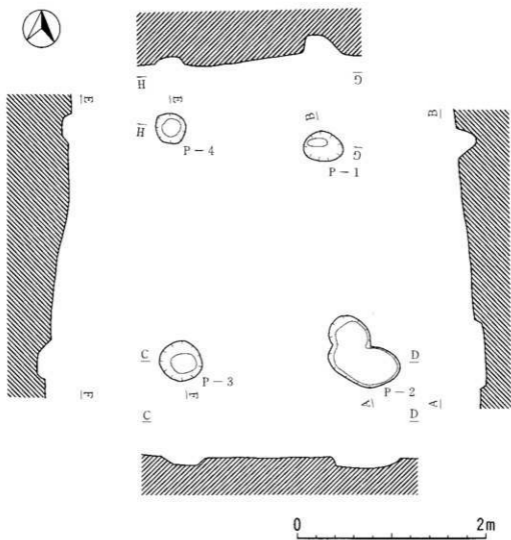
1層→10YR3/3 暗褐色土 粘付ややあり。しまり赤褐色に染み。全体にLBが見えている。
 2層→10YR3/4 暗褐色土 粘付なし。しまりあり。1cm程度のLB中量。炭化物層面に混入。
 3層→10YR4/6 褐色土 粘付なし。しまりあり。
 4層→10YR4/3 濃い黄褐色土。しまりありだが、土色によりもろい。根が多い。
 5層→10YR4/4 褐色土 粘付なし。しまりあり。
 6層→10YR4/3 濃い黄褐色土 粘付ややあり。しまりあり。
 7層→10YR3/6 黄褐色土 粘付あり。しまりあり。



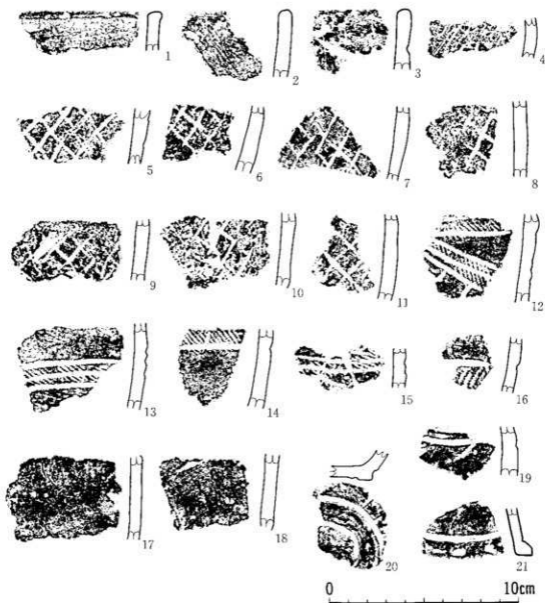
第5号土坑

1層→10YR2/2 黒褐色土 粘付あり。しまりあり。1-2mm粒層面に混入。
 2層→10YR2/1 黒褐色土 粘付あり。しまりあり。ローム粒層面に混入。
 3層→10YR3/2 黒褐色土 粘付あり。しまり強い。ローム粒層面に混入。
 4層→10YR3/3 黒褐色土 粘付あり。しまりややあり。1-2mm粒少量混入。
 5層→10YR2/2 黒褐色土 粘付なし。しまりややあり。ローム粒層面に混入。
 6層→10YR2/1 黒褐色土 粘付なし。しまりあり。ローム粒少量混入。
 7層→10YR1/1/1 黒褐色土 粘付なし。しまりあり。
 8層→10YR3/3 暗褐色土 粘付あり。しまりあり。LB層面に混入。
 9層→10YR3/3 暗褐色土 粘付あり。しまりあり。

第11図 第2・3・4・5・6号土坑



第12図 掘立柱建物跡



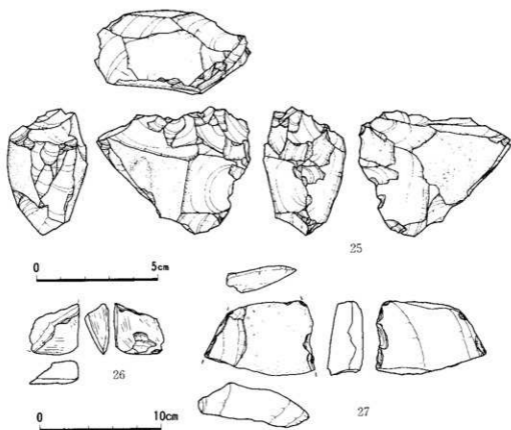
第13图 遺構外出土遺物土器



第14图 遺構外出土遺物石器(1)



第15图 遗構外出土遺物石器(2)



第16図 遺構外出土遺物石器(3)

番号	分類	出土地点	層位	重量(g)	備考	番号	分類	出土地点	層位	重量(g)	備考
1	スクレイパー	I-7	I	9.1		15	剥・擦面のある石片	I-7	I	7.8	
2	*	H-7	I	7.8		16	削片	I-5	I	6.6	両極打法?
3	二次加工のある削片	I-7	I	10.9		17	剥・擦面のある石片	I-7	I	0.9	
4	*	I-5	I	4.8		18	*	I-5	I	2.9	
5	剥・擦面のある石片	I-7	I	0.9		19	*	I-5	I	1.9	
6	*	I-7	I	1.7		20	削片	I-7	I	2.1	両極打法?
7	*	I-7	I	4.2		21	剥・擦面のある石片	I-7	I	4.0	
8	*	I-7	I	3.5		22	スクレイパー	G-3	I	48.2	
9	*	K-R	I・II	5.1		23	*	S-15	I・II	10.7	
10	*	I-7	I	2.5		24	削片	Q-13	I・II	4.9	焼け
11	削片	I-7	I	1.9	両極打法?	25	石核	G-5	I・II	93.4	
12	*	I-7	I	5.5	*	26	磨製石斧	N-10	I	32.7	
13	剥・擦面のある石片	J-8	I	7.6		27	両極打法のある石片	L-8	I・II	187.0	
14	*	H-7	I	1.5	焼け						

第2表 石器観察表

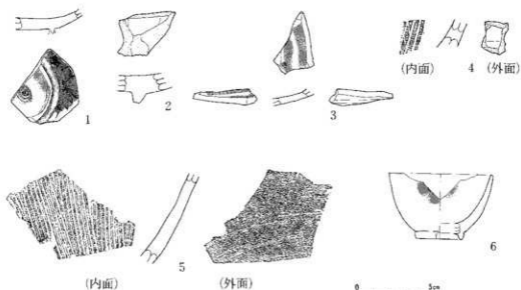
第3節 近世～現代の陶磁器

近世から現代にかけての陶磁器破片が54点出土している。総てI層あるいはI・II層一括取り上げである。そのほとんどが8ラインから14ラインまでのグリッドで出土している。出土状況は散漫であり、小破片で、同一個体を持たないものが多い。二次被熱のものもある。

製作年代は、近世のものが7点、明治以降のものが30点、時期不明のもの（瓦器や鉢の細片）が17点である。うち6点を図示した。

明治以降のものでは、印判染付の碗や皿、他に裏や挿鉢などがある。戦時中に製作された陶器碗（高台内に岐47?の文字）も出土している。近世のもので紹介しなかった2点は、産地不明の挿鉢細片と肥前IV期のコンニャク印判五弁花文の皿の底部片である。

(斎藤 岳)



第17図 遺構外出土遺物陶磁器

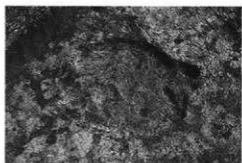
番号	出土地点	層位	種別	口径・底径・器高	特徴
1	F-4	I・II	磁器		染付碗、肥前初期高台内瀬福鉢
2	T-13	I・II	〃		碗、肥前豊一初期蛇ノ目種ハヤ、被熱
3	N-9	I・II	陶器		皿、肥前初期?内面は白化粧土によるハケ目
4	M-9	I・II	〃		鉄釉挿鉢、肥前初期
5	P-11	I・II	〃		鉄釉挿鉢、産地不明、近世?
6	P-11	I	磁器	(6.9) (3.1) 4.4	染付小杯、瀬戸、近代、口縁部赤錆

第3表 陶磁器観察表

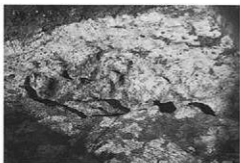
写 真 图 版



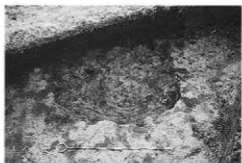
森田(4)遺跡近景



森田(4)第1号土坑



森田(4)第2号土坑



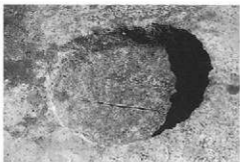
森田(4)第3号土坑



森田(4)遺物出土状況



森田(5)遺跡近景



森田(5)第1号土坑

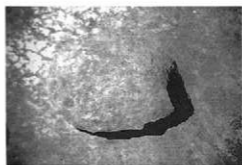


森田(5)第2号土坑

图版 1



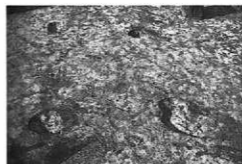
森田(5)第3・6号土坑



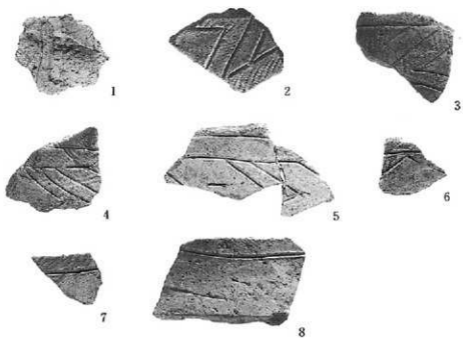
森田(5)第4号土坑



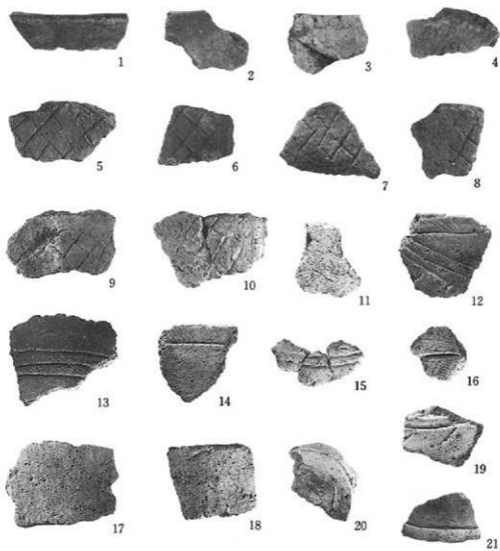
森田(5)第5号土坑



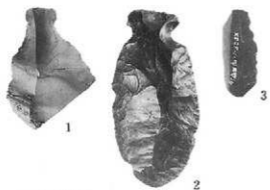
森田(5)第1号掘立柱建物跡



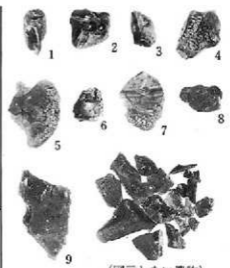
图版 2



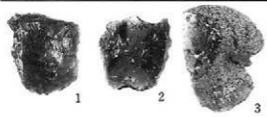
图版 3



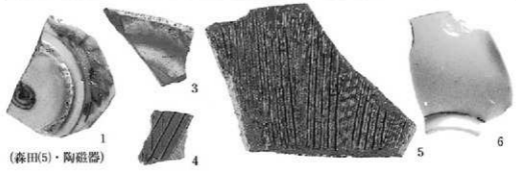
(森田(4)遺跡)



(森田(5)・1号土坑)
(図示しない遺物)



(森田(5)・遺構外出土石器) (図示しない黒曜石石器)



(森田(5)・陶磁器)

図版 4

報告書抄録

ふりがな	もりた 4 5 いせき							
書名	森田 (4)・(5) 遺跡							
副書名								
巻次								
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第176集							
編著者名	佐藤 伸・斎藤 浩							
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒038 青森市大字新城字天田内152-15 TEL 0177-88-5701							
発行年月日	西暦1995年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コ - - ド		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
森田 (4)	青森県弘前市大字 十面沢字森田8- 4外	02202	02177	40°	149°	19931001	1,348	津軽中部広域農 道建設に係る埋 蔵文化財発掘調 査
				43°	21°			
				50°	5°	19931029		
森田 (5)	青森県弘前市大字 十面沢字森田17- 7外	02202	02178	40°	140°	19930901	1,024	津軽中部広域農 道建設に係る埋 蔵文化財発掘調 査
				43°	21°			
				47°	10°	19930930		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
森田 (4)		縄文	土坑	3基	縄文土器 石器 炭化物			
森田 (5)		縄文	土坑	6基	縄文土器 1棟 黒曜石			

青森県埋蔵文化財調査報告書 第176集

森田(4)・(5)遺跡発掘調査報告書

一県管津軽地区広域農道整備事業に係る
埋蔵文化財発掘調査報告書一

発行年月日 平成7年3月31日
 発行 青森県教育委員会
 編集 青森県埋蔵文化財調査センター
 〒038 青森市大字新城字天田内152-15
 TEL 0177-88-5701
 印刷所 東北印刷工業株式会社
 〒030 青森市合浦一丁目2-12
 TEL 0177-42-2221

